

岐阜・芭蕉庵カフェ

築百十五年の町家がカフェに

田中 清之

岐阜を拠点に歴史的建造物等の保存活動を展開している特定非営利活動法人「歴史文化建造物等保存会・トラスト岐阜」が、平成十九年十月、取り壊しの危機にあった岐阜の町家を活用して、期間限定カフェをオープンさせた。

歴史的な町家が取り壊しの危機に

特定非営利活動法人「歴史文化建造物等保存会・トラスト岐阜」は、様々な分野のスペシャリスト（建築士・デザイナー・写真家・コピーライター等）と岐阜を愛する人々が構成しているNPO法人であり、歴史的建造物等の調査や活用方法を研究、提案する活動を行っている。平成十九年十月、解体予定だった岐阜の町家を活用して期間限定でカフェをオープンさせた。

カフェの店舗となった「大澤邸」は、明治二十四年の濃尾地震以後に建てられており、約百十五年を経過した歴史ある建造物である。敷地は約一八〇坪で、前面に主家があり、内部は「みせ」と住居とが混在する町家形式である。廊下の吹き抜け天井と明かりとりや、それぞれ中庭が面している和室は風通しもよく、最東部に位置する和室からは金華山や岐阜城を望むことができる。裏には蔵があり、昔の什器類が保存されている。創建当初は、竹を売る店として主屋、蔵を利用し、住居部分には大澤一家と使用人が住んでいた。その後は米屋を営んだり麦屋を営んだりしたが、約十年前から空き家となっており、維持管理の負担から、所有者の大澤さんから取り壊しの案がでていた。しかし、市では歴史的景観を守る施策

を進めていることから、トラスト岐阜などの団体に相談し、その結果、活用の道を探ることになった。

都市再生モデル調査としてカフェを実施

トラスト岐阜は、平成十九年五月に、カフェの会場となった大澤邸を含む岐阜市の歴史的建造物等の調査、住民アンケート及び町家の活用などを盛り込んだ提案書を作成し、これが、内閣府都市再生本部の全国都市再生モデル調査として認定された。カフェは、この提案案の中の目玉事業として実施されたものである。岐阜に松尾芭蕉が一ヶ月程度逗留したことがあるのにちなみ、「芭蕉庵カフェ」と命名し、十月の毎週金・土・日曜日の期間限定でオープンした。

敷地内の蔵でのミニコンサート、松尾芭蕉特別資料展、アンティーク着物や小物の展示販売などの催し物を行い、コーヒー、甘味などが味わえるようにした。芭蕉の資料展では、俳人協会岐阜県支部長の所山花（ところ・さんか）さんの協力をいただき、所さんが所蔵する書簡や書籍、年表などの資料約五十点を蔵に展示するとともに、所さんによる資料の解説、俳句教室を開催した。教室では約二十人が句作りに励んだ。喫茶部は連日大勢のお客で賑わい、

地元の住民も数多く訪れ、期間中の来場者は合計一二〇〇人を超え、活況を呈した。

カフェのオープンに向けて、市職員や大澤さんの家族、近所の人達など、延べ八十人余りが掃除や準備に関わっており、カフェの実施によって近所でも町家の保存や芭蕉への関心が高まってきた。所有者の大澤さんも、今回の取組みによって自分の家の歴史的な価値を知り、今後活用策を見つけていきたいと考えている。

カフェ終了後、トラスト岐阜では大澤邸を芭蕉関連資料の展示等を含めた店舗とすることを模索しており、町家建造物を大切にしてくれる店舗事業者の募集と選定に向けて、調査やヒアリングを進めているところである。



小物展示販売



ミニコンサート



着物イベント



松尾芭蕉資料展



金華山と岐阜城を望む



芭蕉庵カフェ 外観

●芭蕉庵カフェ ちらし

平成19年風物工芸展 全国都市再生モデル調査選定事業 町家大澤邸の「芭蕉庵カフェ」再生活用実証実験

芭蕉庵
庭より望む
金華山

芭蕉庵カフェ
珈琲

今秋10月、金・土・日だけ期間限定オープン
午前10時から午後4時まで

10月の開店日	
金	土
5	6
7	
12	13
14	
19	20
21	
26	27
28	

主 催 特定非営利活動法人 歴史文化建造物等保存会・トラスト岐阜
後 援 岐阜市
お問い合わせ 050-3530-0280(トラスト岐阜)

◎同時開催
▼芭蕉特別資料展
▼俳句・川柳・短歌の展示
▼アンティーク着物・小物の展示と販売
▼レトロ雑貨